

[ここに入力]

2023年は兎・卯年です。飛躍の年。豊穰、子孫繁栄のシンボルになっています。中国の漢書では、草木が伸びて地面を覆うようになった状態を表します。「二兎を追うものは一兎をも得ず」との諺があります。

# 紅葉台



# 新聞

第61号

2023年

1月21日

発行人：関谷 孝

## カワセミ会 大晦日探鳥会（鎌倉広町緑地）

毎年12月31日に大晦日探鳥会があります。なんでそんな日にわざわざと思いますが、「それも面白い」とたくさんの会員が集結します。今年は、「鎌倉広町緑地帯」48ヘクタール。西鎌倉（湘南モノレール）から歩いてすぐの所です。ここは、40年前、住宅開発が進められようとしていました。近隣住民を中心に反対運動が起き、鎌倉市は、都市林として保全するため、国と神奈川県との支援を受けて2002年、緑地を買取りました。その後、認定NPO法人・鎌倉広町の森市民の会などのボランティアグループが田んぼや畑を復元し、山桜の林を再生して、里山景観を再生しました。その後2015年と尾根が織りなす景観と共にホタル、蝶、カエル、トンボ、山桜、富士山百合、ハンゲショウなど多様な動植物が四季を通して楽しませてくれます。（パンフレットから一部抜粋）

稲刈りが終わった谷戸では、カシラダカの集団がたくさん見られました。下草が枯れた藪にはアオジが住みかにはしています。突然現れる猛禽類。ノスリが悠々と太い木に降り立ちました。海が近いせいかトビが大空を舞っています。あちこち元気な「ピー・ピー」と鳴く声は、ヒヨドリ。今回は、ルリビタキを見ることが出来ました。尾根伝いに歩くと原生林がたくさん生えているのが分かります。途中「カモの羽」が地面にまとまって落ちていました。これは猛禽類が餌として捕食し、食べるために羽をむしった跡（食痕）です。ちょっとかわいそうな気がしますが、生態系がうまくつながっている証拠です。



ここには管理事務所があるので、休憩場所にも安心です。お昼ご飯を野外で食べるのは開放感があります。また、年間を通してここで見られる生き物を写真にしたカレンダーがあり、記念にいただきました。すぐ近くに七里ガ浜の海岸が見えます。林を抜けると、もう大きな住宅地が周りを取り囲んでいます。鳥合わせは、22種。今回のベストは、「カシラダカ・ルリビタキ・ノスリ」でしょうか。

坂を下ると、有名な写真スポット。「鎌倉高校前の江ノ電踏切」です。皆さん、きっとどこかで見たことがある光景です。湘南の海が目の前に迫ってくる広々とした海。風や押し寄せる波が湘南サウンドでした。すぐ近くには江の島がよく見えました。江ノ電に乗って、藤沢経由で帰りました。いつもとは違ってちょっと足を延ばして遠出をするのも新しい発見があります。



大晦日は、なんだかいつもとは違った特別の日でワクワクします。皆さんあっという間に蜘蛛の子を散らすように解散というもあっばれでした。【文責 関谷】

## 柏谷和夫の観察日記

### ヒヨドリ



ヒヨドリは、雑食性で何でも食べます。この写真は、八王子みなみ野駅前の街路樹ハナミズキの実を食べに来たところです。東京都建設局のデータで都内の街路樹で最も多いのがハナミズキだそうです。ヒヨドリはいくらでも食べ放題ですね。

♥このヒヨドリの構図は花札のようですね。ヒヨドリの口の中に真ん丸な赤いハナミズキの実がしっかりとらえられています。薄い舌が実を支えているのもよく見ることが出来ます。いつもながら決定的瞬間をばっちり捉えた素晴らしい写真ですね。

## 住みやすい街 西八王子が大賞！

昨年12月15日に発表。これは、住宅ローンをはけるアルヒ（株）が主催しました。同社の1都3県で物件購入データを基に「交通の利便性」「教育・文化環境」「発展性」など5つの基準から住宅や不動産の専門家による選定委員会が審査しました。

選出理由は、駅周辺に西八商栄会やセレオ西八王子、ダイエー西八王子などの買い物施設が充実している点や2025年に八王子IC付近に次世代型複合商業施設が開業予定である点が評価されました。総合評価は、5点満点中4.13でした。

初めは、「えー意外」と思いましたが、八王子市役所もあり、近くを浅川が流れています。隣の高尾山も有名です。お正月では、八福神巡りで有名ですし、「八王子祭り」や「いちよう祭り」もあります。歴史も「千人同心」発祥の地でもあります。また、なんととっても西八王子エリアは、JR中央線沿線上位クラスに賃料が安いのも大きな魅力です。隣の高尾駅が始発駅なので、座っていけるのも魅力ですね。いつも電車に乗っていると西八王子で降りる人が多いので「なるほど」と頷けました。2位は、「千葉県・流山おおたかの森」同大賞の「2021シニアランキング」では、南大沢が第2位でした。個人的には高尾が住みやすいと思いますが、誰でも自分の街が一番なのかもしれませんね。ところで、読者の皆さんの住んでいるところはどんなところでしょうか。住んでみていいなと思う所はどんなところでしょうか。



皆さんからの原稿をお待ちしております。楽しかったこと、好きなこと何でもOKです。